

令和 6 年 10 月 理事会報告			
R6 第 2 回スポーツ栄養委員会			
日 時	6 月 1 日 (土) 10:00~11:50 am	場 所	対面 ウインクあいち
出席者	小久保友貴、山本和恵、重田玲子、森田有貴、永戸（事務局） 敬称略 報告者：山本和恵		
協議事項 及び 決定事項	<p>1. 確認事項</p> <p>1) スポーツ栄養講座 基礎コース 担当・役割・タイムスケジュールについて、すり合わせた</p> <p>2. 検討事項</p> <p>1) スポーツ栄養セミナー 10月6日(日) 会場：刈谷市産業振興センター（小ホール） 会場費：33,300 円 テーマ：栄養と休養 「～現場から学ぶ！！競技力向上のための食べ方、休み方～」 ジュニアのスポーツに関わるみなさんへ (2 単位) 内容：12:30~13:10 (45 分) 講座①「ジュニア期の運動に必要な栄養素」 講師：山本和恵 13:20~14:50 (45 分) 講座② 講師：打診中 15:00~16:30 (45 分) 講座③ 「打診中」 講師：野口崇広氏 ：合計 2 単位 参加者：学生、栄養士、スポーツ関係者など 80 名の募集 参加費：無料 後援：刈谷市教育委員会（準備中）、愛知県スポーツ協会（進行中） 協賛企業：大塚製薬（申請準備）、三井製糖（打診中）、ユーフォリア（打診中） チラシ配布：愛知県スポーツ協会（協力打診済み）、教育委員会（検討中）</p> <p>2) 実践コース 11月23日(土) 仮、対面 会場：東邦ガス（検討中） 募集人数：20 名 テーマ：「疲労回復のための食事のコツ」 講師：検討中 公認スポーツ栄養士及び委員の実践活動報告編</p> <p>2) その他 ・今年度の大きなテーマは、「栄養とコンディショニング」</p>		
理事会での 検討事項	1 年間大きなテーマに沿って、スポーツ栄養講座（2 コース）、スポーツ栄養セミナーを実施する。		
今後の 検討事項	スポーツ栄養セミナーの進捗状況および確認。11月23日実践コースの詳細確認。		

令和 6 年 10 月 理事会報告

R6 第 3 回スポーツ栄養委員会

日 時	7 月 8 日 (月) 20:00~22:00	場 所	オンライン (Zoom)
出席者	小久保友貴、上野秀美、野間千里、森田有貴、重田玲子、山本麻希、山本和恵、 永戸（事務局） 敬称略 報告者：山本和恵		
協議事項 及び 決定事項	<p>1. 検討事項</p> <p>1) スポーツ栄養セミナー 10月6日(日) 会場：刈谷市産業振興センター（小ホール） 会場費：33,300円 テーマ：栄養と休養 「～現場から学ぶ！！競技力向上のための食べ方、休み方～」 ジュニアのスポーツに関わるみなさんへ (2単位) 内容：講座①「ジュニア期の運動に必要な栄養素」(45分) 講師：山本和恵氏 講座②「パフォーマンス向上のための調整方法」(45分) 講師：金子美由紀氏 講座③「ジュニアアスリートのリカバリー方法」(45分) 講師：野口嵩広氏 講座④ トークセッション (45分) 講師 3名によるトークセッション・質疑応答</p> <p>参加者：学生、栄養士、スポーツ関係者など 150名の募集 参加費：無料 後援：愛知県スポーツ協会（進行中） 協賛企業：事務局（集約中） チラシ配布：愛知県スポーツ協会（協力打診済み）、</p> <p>2) 実践コース 11月23日(土) 対面 会場：東邦ガス（検討中） 募集人数：20名 テーマ：「疲労回復のための食事のコツ」 講師：大野千秋氏 公認スポーツ栄養士及び委員の実践活動報告編</p> <p>2) その他 ・新メンバー：山本麻希さん（今回より参加）</p>		
理事会での 検討事項	なし		
今後の 検討事項	スポーツ栄養セミナーと栄養講座実践コースの進捗状況および確認。 来年度のイベントについて検討する。		

令和 6 年 10 月 理事会報告

R6 臨時スポーツ栄養委員会

日 時	7月26日(火) 18:00~19:00	場 所	オンライン (Zoom)
出席者	小久保友貴、上野秀美、野間千里、森田有貴、重田玲子、山本麻希、山本和恵、 3役(山村会長、上原副会長、奥村副会長、吉田常務理事、平田常務理事、藍川事業部 長)、永戸事務員 報告者：山本和恵		
協議事項 及び 決定事項	<p>1. 確認事項</p> <p>1) 愛知県栄養士会組織体制について(山村会長から)</p> <p>① 組織体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、スポーツ栄養委員会は栄養ケアステーションから外れ、独立した委員会として組織を再編したが、単独で委員会は存在しない。対県民に対しての事業を展開する事業部になる。 ・企画する内容は、決定したことの報告でなく、決定前の規格の段階で事業部部長にその旨を報告して進めること。 ・本年度の事業計画、予算は前年度の秋ごろに計上。新年度になり、事業計画が具体計画になる。企画して決定する前の段階で、事業部長に報告し説明。問題点：事業計画(前年度に作成)と大きくテーマや対象者が変更されて動いている、という事案があった。前年度の事業計画を反映させ、その時に出している予算の中で行うことが必要。 ・組織として動く。外部の方を巻き込んで企画する内容も、先方の都合もあるため注意すること。 ・外部団体に後援依頼も「後援名義の使用許可」に趣意書などを添えて依頼をする。外部から栄養士会に依頼が来る場合も同じ。それを受けて理事会での承認や三役の確認が必要。(後援名義の文書を出せば終わりではなく、時間がかかる。研修に「どうしてうちが関わる必要があるか?」という疑義があれば承認をもらえない場合もある。必ず事前に部長に相談すること。) ・計画時、費用対効果を考えること。お金をかけて何をもとめているか、その人数で目的が達成できるかという事も検討してほしい。 ・対県民に向けて事業を展開する事業部に位置付けたので、そのような視野を持ったうえで企画立案をしていただきたい。 <p>② アジア競技大会(開催：2026年)に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2025年度に県民に向けてのイベント(本会ならではのイベント)を計画していただきたい。スポーツ栄養委員会としての研修とは別に、愛知県栄養士会として実施する県民に向けてのイベントを検討していただきたい。 ・県民のみなさんにどういう形でスポーツと栄養について啓発ができるか。予算も積算する。賛助会員に依頼し、収入広告をいただけるようであればそこも考えたい。組織委員会ではブースに出し物の協力が可能かもしれない。会場をもって行うイベントや、オンラインでできること等、様々な手法・幅広い視点で提案していただきたい。 ・県民のみなさまに応募、参加してもらうような内容であれば、周知募集等に時間がかかる。それを踏まえた企画立案をしてほしい。 <p>③ 連絡・確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織として動いているので、外部に迷惑をかけることがあってはいけない。 ・働き方改革で事務職員の勤務時間について、ご理解とご協力をいただきたい。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局のある DAIO ビルについて 日曜日と夜間はビルの入り口を施錠。外から出入りができない。 日曜日に荷物を取りに来たり、返しに来たりすることができなくなる。どうしても都合がつかない場合は事前に連絡をいただければ対応可能だが、基本的には日曜日はなしでお願いしたい。夜間は 20 時で玄関が施錠される。 ④ その他 〈山本委員長〉 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ栄養委員会として、「基礎コース」で基礎的なところを学び、「実践コース」で質を高めて輩出していくというコンセプトで行っている。「スポーツ栄養セミナー」は県民向けのため、事業部の意向と合うと考えている。 〈山村会長〉 <ul style="list-style-type: none"> ・会員の一人一人の資質向上を通して、県民に還元されることを目的として行っている。事業部に位置付けているので、全体は事業部長に計画の報告をしていただく。 ・対県民に声をかけることであれば、後援名義をいただくこともあると思う。基礎コースや実践コースのように会員の資質向上を行う研修であれば、後援名義の必要はないと思うので検討してほしい。 〈山本委員長〉 <ul style="list-style-type: none"> ・アジア競技大会に向けて、スポーツ業界が動いている。 スポーツ協会から「コラボしたい」という場合は藍川部長に相談してから話を練る、という流れでよろしいか？ 〈山村会長〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ご理解のとおりです。 提示事例の場合、スポーツ栄養委員会が受けるのではなく、愛知県栄養士会として受けることになるので、まず事業部長に通して三役に通っていただきたい。コラボや協力など何を依頼しているかによって動きが大きく変わるので、受け取り方を間違えないようにしていただきたい。 ・プレイベントの企画としてコラボ（共催）的な話であれば、それも計画の一つになると思う。 ・本会として、単独で栄養とスポーツに関するものがあるとよいと思う。 〈山本委員長〉 <ul style="list-style-type: none"> ・公認スポーツ栄養士の資格を持った人がいるが、「県内でその人たちはどこにいるの？」「栄養士会に相談してもスポーツ栄養士に届くんだろうか？」という声も出ている。公認スポーツ栄養士を前面に出して、栄養相談などを行うという事もできるのではないかと考えている。 〈山村会長〉 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の中にスポーツ栄養に関心の高い者もいるし、一般の人が興味を持っていることもある。栄養相談というような啓発の仕方もあるし、広く行うものなど、いくつか案を挙げていただきたい。 ・「栄養、栄養」と言っている栄養士会でなく、スポーツを楽しみながらアジア大会を契機に啓発できればと思う。マスコットなども上手に使っていただけるとよいと思う。栄養相談の場所も設けながら違う取り組みも提案いただきたい。 〈藍川部長〉 <ul style="list-style-type: none"> ・自分は三役とのつながりが役目だと考えている。 栄養士会の仕組みは理解しているので、栄養士会の意向をスポーツ栄養委員会に伝えることが役目だと思っている。来年の事業計画なども仕上がったら、連絡調整をしたい。
理事会での 検討事項	なし
今後の 検討事項	

令和 6 年 10 月 理事会報告

R6 第 4 回スポーツ栄養委員会

日 時	9 月 17 日 (火) 20 : 00 ~ 21 : 40	場 所	オンライン (Zoom)
出席者	小久保友貴、上野秀美、野間千里、森田有貴、重田玲子、山本麻希、山本和恵、 報告者：山本和恵		
協議事項 及び 決定事項	<p>1. 確認事項</p> <p>1) スポーツ栄養セミナー 10 月 6 日 (日)</p> <p>会場：刈谷市産業振興センター (小ホール) 会場費：33,300 円 テーマ：ジュニア期・成長期の「栄養と休養」 (2 単位) 内容 (タイムスケジュール)：10 時集合 (12 時受付) 開会挨拶 12 : 30 ~ 12 : 35 講座① 12 : 35 ~ 13 : 20 講師：山本和恵氏 「ジュニア期の運動に必要な栄養素」 (45 分) 講座② 13 : 35 ~ 14 : 20 講師：金子美由紀氏 パフォーマンス向上のための調整方法 (45 分) 講座③ 14 : 30 ~ 15 : 15 講師：野口嵩広氏 「ジュニアアスリートのリカバリー方法」 (45 分) 講座④ 15 : 35 ~ 16 : 20 トークセッション (45 分) 講師 3 名によるトークセッション・質疑応答</p> <p>※ 展示業者壇上説明を 1 社 5 分程度 (2 社) 講座 1 と 2 の間に実施 参加者：管理栄養士・栄養士、スポーツ関係者、一般 (中学生以上) など 参加費：無料 (定員 200 名) 後援：愛知県スポーツ協会 協賛企業：(株) インボディ、大塚製薬 (株) チラシ配布：愛知県スポーツ協会 (済み)、</p> <p>2) 実践コース 11 月 23 日 (土) 対面 会場：岩倉市生涯学習センター 募集人数：15 名 テーマ：「疲労回復のための食事のコツ」 講師：大野千秋氏 公認スポーツ栄養士及び委員の実践活動報告編</p> <p>3) その他 来年度のイベント案：1 日新愛知県体育館のフロアを貸し切って、食育クイズ、 栄養相談、スポーツ選手と触れ合う、SAT を使用した食育、スポーツ選手の食事 紹介、ミニ筋肉講座など</p>		
理事会での 検討事項	来年度のイベント案で 1 日愛知県体育館のフロアを貸切ることが可能でしょうか。		
今後の 検討事項	栄養講座実践コースの進捗状況および確認。 来年度のイベントについて検討する。		